

社会とのつながり

活動方針

地域とのつながり、
障がいのある方々との交流を大切にします。

地域とともに

2016年10月「横浜型地域貢献企業」最上位の認定を受けました。



小学生が地域の方々と一緒に健康体操

はまっ子未来カンパニープロジェクト

ファンケル本社のある横浜市は、2016年8月、子どもの「社会性」や「自立性」の育成を目的とした「はまっ子未来カンパニープロジェクト」を立ち上げました。市内の企業や団体が学校教育に関わり、ファンケルは「体操を作って、地域の人を健康にしたい」という小学生の夢を叶えるため、従業員が半年間にわたり、体操のアドバイスや、青汁を提供するなどの活動を行いました。



横浜市内の清掃活動

美しい港町横浜の清掃活動

横浜市の企業が発起人として立ち上げた清掃活動に、2014年より参加しています。早朝に社屋周辺の清掃活動を行い、休日には、横浜港周辺の清掃活動に、従業員がボランティアとして参加しています。

障がいのある方々とともに

ファンケルは障がいのある方々に向き合う姿勢を大切にし
神奈川県が制定した「ともに生きる社会かながわ憲章」にも賛同しています。



ファンケル社屋でのクリスマスパーティー

「社会福祉法人 訪問の家」との交流

重度・重複障がい者施設「社会福祉法人 訪問の家」と1987年から交流を続けています。施設においてファンケルの新入社員研修や法人主催のバザーへ協力します。そして、「訪問の家」の方々をファンケル社屋にご招待するクリスマスパーティーを開催し、経営トップから従業員まで、おもてなしの心で親交を深めています。

ファンケルスマイル 第18回 全国アダプテッドエアロビック大会

特例子会社(株)ファンケルスマイルでは、従業員の有志が終業後にエアロビックの練習をし、大会に参加するとともに、大会の協賛もしています。

「従業員参加型」が特徴です。

「美しく、健康に」本業と結び付いた活動



ファンケルメイクセミナー

ファンケルセミナー

ファンケルセミナーは、「特別支援学校」や「高齢者施設」などで、メイクや健康のセミナーを無料で行う活動です。講師は、ファンケルグループの従業員が担当。講師の経験が少ない従業員は、事前講習会で技術を学びファンケルの美と健康をお伝えします。

2016年度

実施回数 **152回**(前年137回)

従業員参加数 **180名**(前年222名)



県外避難者の方へのイベントで
ハンドマッサージ

被災地支援活動

東日本大震災の支援として、ハンドマッサージや青汁の提供など、心身の健康を応援する活動を継続しています。現地のニーズを的確に汲み取る非営利団体や自治体が主催するイベントに、一団体として参加し、被災地と避難先で活動しています。また、「洗顔パウダー〈桜〉」(数量限定品)の売上の一部を熊本地震の復興支援として寄付しました。

2011年から

実施回数 **191回**

従業員参加数延べ **937名**

ステークホルダーとともに(寄付活動)

ステークホルダーとともに、活動方針に沿った寄付活動を行っています。

項目	開始年度	2016年度寄付金額	主な寄付先
主な 寄付活動	株主様の寄付	2006年	1,107千円 日本赤十字社
	ファンケルクラシック基金	2007年	4,866千円 裾野市
	従業員による寄付活動 「もっと何かできるはず基金」	2007年	10,300千円 日本赤十字社 (平成28年熊本地震義援金)
	お客様のポイント寄付	2008年	2,256千円 公益財団法人 みちのく未来基金
		2016年	5,376千円 日本赤十字社 (平成28年熊本地震義援金)



協力者とともに、世界で活動



コスタリカの子どもたちへ用具を寄贈

ファンケル キッズベースボール

ファンケルパートナーの原辰徳氏が講師を務める野球教室「ファンケル キッズベースボール」を2010年から特別協賛しています。野球教室の会場では使わなくなった用具を集め、独立行政法人 国際協力機構(JICA)が各国に派遣する大学生や特定非営利団体の職員に託し、用具不足に悩む国々へ寄贈しています。

2016年度

用具寄贈数 **2,867点**(前年1,837点)

寄贈国 **9カ国**(前年8カ国)